

# VELO TAXI SAPPORO ベロタクシー札幌



特定非営利活動法人 エコ・モビリティ サッポロ

〒060-0001

札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル5F SCO内

Tel :011-242-2555 Fax:011-261-1920

<http://velotaxi-sapporo.jp>

## 沿革

2007年	6月	任意団体としてスタート
2007年	12月	環境省 環境コミュニティビジネスモデル事業認定、 「セブンイレブンみどりの基金」助成取得
2007年	1月	ベロタクシージャパンと札幌市でのベロタクシー運行契約を結ぶ。
2008年	3月	NPO法人格取得
2008年	4月～10月	5台で運行開始 期間中約9400人が利用 札幌市国内観光プロモーション助成事業認定
2009年	4月～10月	2年目運行 期間中約7000人が利用
2010年	2月	「第61回さっぽろ雪まつり」にて約2000人が乗車
2010年	4月24日～	3年目運行をスタート パナソニックNPOサポートファンドの助成を受け「ドライバーホスピタリティ強化事業」を実施

## おもな事業内容

- ・ベロタクシー(自転車タクシー)の運行事業
- ・ベロタクシー(自転車タクシー)の普及促進に関する事業
- ・札幌にふさわしい都市交通に関する情報収集・発信及び調査研究に関する事業など

## 団体概要

【団体名】 特定非営利活動法人 エコ・モビリティ サッポロ

【代表者】 栗田 敬子

【設立目的】 地球温暖化の防止および地域活性化の観点から、今後の札幌のふさわしい都市交通の保全と地球環境保全に寄与することを目的とする。

事業名	『人と地球に優しいベロタクシー(自転車タクシー)を活用した地域貢献活動』
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急的な課題である地球温暖化防止への貢献。</li> <li>・札幌都心部の魅力向上と活性化をめざしたまちづくりへの貢献。</li> </ul>
事業概要	<p>運行開始時期：平成20年4月下旬          運行日時：毎年4月下旬～10月下旬 毎日10:00～日没まで(但し、イベント等では夜間も運行)          運行エリア：【当初】札幌市内中心部約2km四方の範囲及びイベント、公園内等                            【3年後】札幌市内中心部及び郊外地区、イベント、公園内等          運行台数：当初5台程度、5年後には10台を予定。          運賃：初乗り500mまで300円(1人)、その後100mで50円。                    観光向け時間貸切制：30分2,000円、1時間3,000円。</p>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2を全く排出しない移動手段による地球温暖化防止。</li> <li>・自由度の高い移動手段(回遊性向上)による、都心の賑わいなどの魅力向上と活性化</li> <li>・回遊性の高い移動手段を提供することにより、商店街での来客数及び売上げの増加。</li> <li>・市内都心部への自動車乗り入れ台数の抑制と既存公共交通の活性化。</li> <li>・市民一人一人が取り組める環境保全活動に関する意識向上・行動への動機付け。</li> <li>・地球環境保全、健康増進、経済性に優れた自転車の普及促進。</li> <li>・移動手段の選択肢が広がることによる市民及び観光客等の利便性向上。</li> <li>・自動車を運転しない高齢者や障害者等への外出機会の提供</li> <li>・スノースポーツ関係者を中心としたドライバーへの雇用・トレーニング機会の提供。</li> <li>・「環境文化都市さっぽろ」として、まちづくり、交通計画に関わる施策への貢献</li> <li>・広告サポーター企業等のCSR活動の一環、PR</li> </ul>

## 徒歩ではきつい距離の移動に

- 斗南病院、厚生病院
- 近代美術館(北1西17)
- 札幌市資料館(大通り西13)
- 教育文化会館(北1西13)
- 植物園(北2西8)
- 北大(北8西5)
- 中島公園(南10西4)
- サッポロビール博物館(北8東8)
- 札幌ファクトリー(北2東4)

## お祭りやイベントでの楽しみとして

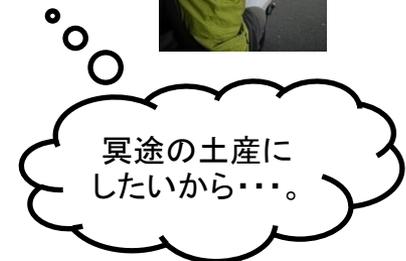
- ・札幌祭り
- ・よさこいソーラン祭り
- ・大通りビアガーデン
- ・オータムフェスト
- ・住宅フェア
- ・雪まつり

## 話題のお店へ(中心部)

- ・スープカレー店
- ・札幌ラーメン店、すし店
- ・円山エリア、ランチ、カフェ



例外もありました。



## 利用された方の声

- 「乗りたくて追いかけてきました。」(修学旅行生) ・「自宅(南2西8)まで買い物荷物が重いので便利です」(50代女性、週2回利用)
- 「教育文化会館まで歩くのが大変だった」(着物を着た女性)
- 「車いすでは介助者がいないと観光できないから助かった」(滞在中2度利用。中心部、北大、買い物など2時間利用)
- 「来札した祖母の観光案内にとっても便利でした」(20歳大学生)
- 「札幌の街にぴったりですね」(神奈川60代ご夫婦) ・「大通り公園を1周してみたかった」(90歳母、60代息子)
- 「みんなに注目されて、お姫様になったみたい」(20代女性) ・「美智子様になったよう」(86歳女性)
- 「主人の病院(厚生病院)へ利用」(60代女性、週1回ドライバー指名)

## ドライバーの声

- 「かわいい、気持ちがいい、想像していたより快適と喜ばれます。」
- 「時計台～札幌ビール園などちょっと不便な場所への要望がたくさんあります。」
- 「テレビ塔、時計台、道庁を30分で周るコースが気軽に人気です。」
- 「観光客の方に訪ねられ、お勧めのラーメン店、話題のスープカレー店にご案内したり、旬の話題を提供することもあります。」
- 「海外のお客様(特にアジアの方)から注目を浴びています。駐輪していると、よくとり囲まれます。」
- 「夕方はずすきのお勤めの方もよく利用します(大通り～すすきの間約300円)」
- 「足の悪い方にはビルの入口前まで対応できるので、大変喜ばれます。」



「CO2排出削減量」算出しています。

ガソリン車の代わりにペロタクシーで移動した場合、  
1kmあたり約223gのCO<sub>2</sub>の排出を削減します。

2008～2009年度 合計CO<sub>2</sub>排出削減量

※2008年度～2009年度運行合計

**3,258.35kg**

08～09年度 合計乗車走行距離

**14,611.43km**



●1kmあたりの各CO<sub>2</sub>排出量／ガソリン車232g(札幌市環境局試算)、ペロタクシー9g(エコ・モビリティ・サッポロ試算※)

※ペロタクシーを1km走行するのに使用する電動アシストの平均消費電力-18.8kWhを北海道電力(平成19年度)CO<sub>2</sub>排出係数0.000479t-CO<sub>2</sub>/kWhで試算。

2008年度

累計CO<sub>2</sub>排出削減量

**1,881.76kg**

乗車走行距離

**8,438.40km**

2009年度

累計CO<sub>2</sub>排出削減量

**1,376.58kg**

乗車走行距離

**6,173.03km**



# VELOTAXIが出来ること

CO2を全く排出しない交通手段として  
**地球環境の保全**

注目度が高く、効果的な**屋外広告媒体の提供**

若者を中心としたドライバーの**働く場の提供**

都心内移動の利便性、回遊性向上による**都心の魅力向上、活性化**



移動手段の選択肢が広がることによる**市民及び観光客等の利便性向上**

公共交通を補完する近距離移動手段として既存の**公共交通の活性化**

高齢者、障害者等への**福祉サービスの提供**

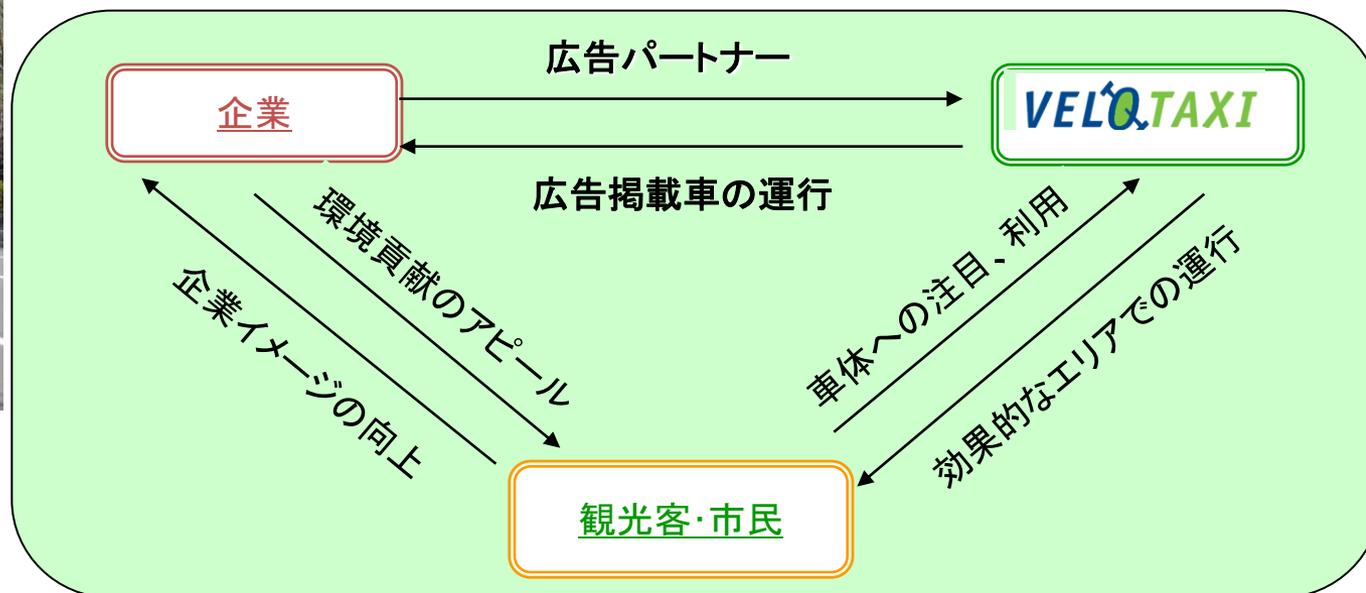
自由度、利便性、経済性、環境性の高い**自転車を活用した街づくりの提案**

**過度に自動車に頼り過ぎないライフスタイルの提案**

ベロタクシーの環境保護活動は、広告パートナーからの広告掲出費を活動資金として運営をおこなっております。

## 広告効果

1. 車両全面広告（フルラッピング）の迫力・表現力＝印象度
2. 複数台での走行＝反復訴求・インパクト
3. 様々な場所への移動＝ピンポイント的なエリアアプローチの実現
4. メディアミックスとしての利用＝相乗効果
5. 自社社員への意識改革・インナー対策＝自社教育



## 弟子屈町 (国土交通省観光交通実証実験)



## 北ガス 「環境広場さっぽろ」



## エコ市エコ座

経済産業省環境活動活性化ビジネス促進事業



## コンサドーレ札幌「Thanks earth Day」

(大谷地～競技場シャトル便)



# ベロタクシーのこれから

エリアごとに拠点を置き  
利便性と活性化に  
貢献。

高齢者、障害者、子  
供などへのきめ細  
かな対応

自転車を利用したま  
ちづくりの提案

環境配慮型の新しい観  
光スタイルとして(エコ  
ツーリズム)

公共交通機関と  
の連携

道路交通実験  
などへの協力

札幌にふさわしい都  
市交通に関する情報  
収集・発信



北海道の環境(雪)保護とまちづくりの2つの地域貢献からスタートした事業で、街中の近距離の移動手段として観光客はもちろん、市民の利用が半数を占め、高齢者、女性の利用が多かった。

「面白そう、楽しそう」というきっかけから、お気に入りのドライバーとの会話を楽しむことを望んでいる利用者もいて、交通手段でありながら人との触れ合いが体験できるベロタクシーは今後の社会に必要不可欠な事業となると感じています。